

第 3 章 施策の展開

基本目標 1. 子どもが心身ともに健やかに成長できる 教育環境の整備

主要課題 1 児童の健全育成の推進

少子化、都市化、生活様式や意識の変化などにより、あそび等を通した子ども同士の活動、地域の人たちや自然・文化等とふれあう機会が少なくなり、自らの体験を通して学び、成長することが難しくなっています。

体験学習やスポーツ、文化活動、異なる年代の人との交流の場を提供し、子どもの豊かな人間性や自立心を育み、児童の健全育成を図ることが課題となっています。

施策 1. 児童の体験活動の推進

事業名	事業内容	今後の展開	担当部署
1 児童館事業	現在実施されている、なかよしルーム、ほっと・ぶれいくサロン、小学生教室、プチ工作、ハリークラブ、世代間交流、居場所づくりを児童館事業として統合し、児童館の機能・内容の充実を図り、子どもたちの健全育成に努めます。	重点	福祉課
2 みぶホリデーアクションプラン	子どもたちに不足している体験活動を提供するため、子どもたちが自由に遊べる場として、町施設「嘉陽が丘ふれあい広場」を無料開放し、異なる年齢集団の交流を図るとともに、地域支援ボランティアが趣味や特技を生かした講座を開催し、大人と子どもの交流を図ります。また、住民のボランティアが学校の体育館等を利用し、子どもたちを教育・支援することにより、地域の教育力の向上に努めます。 〈主な内容〉 ① 児童文化教室（宿泊研修、カルタとり大会、ドッチボール大会等） ② 子ども遊び学び塾 ③ 心の教育出前講座 ④ ウィークエンド・ユース・アクティビティ	継続	生涯学習課

施策 2. スポーツ・イベントによる心身の育成の推進

事業名	事業内容	今後の展開	担当部署
1 ファミリー体育祭開催事業	3年に一度の開催ですが、町民多数の参加を得てスポーツ・レクリエーションの普及を図るとともに、子どもたちが各種競技に参加することによって、親子間そして地域住民と交流することで、地域の親交を図ります。	継続	スポーツ振興課
2 壬生町レクリエーション大会開催事業	「いつでも、どこでも、だれとでも」手軽に楽しめるニュースポーツを紹介し、普及させることにより家族のふれあいと健康維持を図ります。	継続	スポーツ振興課
3 しののめ花祭り開催事業	毎年、多くの町民が参加する『しののめ花祭り』に、親子の参加を呼びかけ、親子同士や地域住民と交流し、また、お祭を楽しむことにより、親の気分転換や子どもたちの心身の健全育成を図ります。	継続	商工観光課
4 学校体育施設開放事業	ニーズ調査によると、遊び場について、「雨の日に遊べる場所がない」「近くに遊べる場所がない」などの意見が多く、保護者からあげられています。 今後、一般に開放している学校体育施設を、親子のグループにスポーツや遊びの場としても開放し、子どもたちの心身の健全育成を図ります。	継続	スポーツ振興課
5 体育指導員活動事業	体育指導員の活動の中で、手軽に楽しめるニュースポーツ教室や大会に、子どもたちや親子の参加を呼びかけ、スポーツの楽しさの体験、親子のふれあいを図ります。	継続	スポーツ振興課
6 総合型地域スポーツクラブ等の創設	今後創設が予定されている『総合型地域スポーツクラブ』等において、親子が参加できるプログラムを検討します。	新規	スポーツ振興課

施策 3. 文化活動による心の育成の推進

事業名	事業内容	今後の展開	担当部署
1 学校利用推進事業	学校へ出向き、原始・古代の資料を見たり、触れたり、体験したりして、当時の人々の生活の様子について知り、郷土の歴史を身近に認識します。	継続	生涯学習課
2 音楽鑑賞会開催等委託事業	壬生町施設振興公社に委託して開催する音楽会等に、子どもたちや親子の参加を呼びかけることにより、文化芸術活動への関心を高め、豊かな感性の育成を図ります。また、各種の文化活動への活発な参加及び実践を促します。	継続	生涯学習課
3 企画展開催事業	郷土の歴史や文化等を紹介する企画展・特別展に、子どもたちや親子の参加を呼びかけ、郷土の歴史や文化等を知り、郷土を愛する心の育成を図ります。	継続	生涯学習課

施策 4. 世代間交流の推進

事業名	事業内容	今後の展開	担当部署
1 ジュニアリーダーズクラブ活動事業	高校生・中学生からなるボランティア団体で、子ども会や社会教育活動の実行・援助をするとともに、自らの向上にも努め、奉仕の精神の育成を図ります。	継続	生涯学習課

施策 5. 経済的支援の推進

事業名	事業内容	今後の展開	担当部署
1 児童手当の支給	小学校第3学年修了前の児童を養育する保護者に、第1子・2子は月額5,000円、第3子以降は月額10,000円を支給し、経済的負担の軽減を図ります。（支給要件として所得制限があります。）	継続	福祉課
2 すこやか子育て支援金制度	少子化時代における子どもの健やかな成長を願い、第3子以降の出産・養育に対し、1人につき10万円を支給します。	継続	福祉課

主要課題2

子どもの生きる力の育成に向けた学校教育環境等の整備

子どもを取り巻く環境が大きく変化する中で、学力の低下とともに、子どもたちの豊かな人間性や自立する心などが希薄になっています。

そこで、学校教育環境等を整備し、個性を尊重し、成長の段階にあった次代を担う子どもの生きる力の育成を図ることが課題となっています。

施策 1. 特色ある学校づくりの推進

事業名	事業内容	今後の展開	担当部署
1 外国語指導助手招致事業	外国語指導助手を、各中学校に配置し、英語学習の充実を図るとともに、各小学校へも派遣し、外国の文化等を取り入れながら、外国語教育の促進を図ります。	継続	学校教育課
2 臨海自然教室推進事業	小学生に海辺での集団宿泊体験や自然体験、漁業や海運等に関する教育資源を活用した体験的学習を行います。	継続	学校教育課
3 マイ・チャレンジ推進事業	「学校・家庭・地域が力を合わせて地域の子どもの育成する」ことを趣旨として、中学2年生を対象に、地域の人々とのふれあいなどの社会体験活動を通して、児童生徒の「共に生きる心」や「感謝の心」の育成を図ります。	継続	学校教育課
4 学校施設改修事業	町内の各小中学校の老朽化した施設を修繕改修し、良好な教育環境づくりと児童生徒の安全確保を図ります。また、耐震診断を行い、災害時における地域住民の避難場所として、防災機能の充実強化を図ります。	継続	学校教育課

施策 2. 国際交流の推進

事業名	事業内容	今後の展開	担当部署
1 中学生国際交流推進事業	町内中学生を海外に派遣し、現地での生活体験や中高生との交流を通じて、外国語による表現力や理解力を高めるとともに、国際感覚豊かな児童生徒の育成と国際交流の推進を図ります。	継続	学校教育課

施策 3. 地域に開かれた学校づくりの推進

事業名	事業内容	今後の展開	担当部署
1 学校地域支援ボランティア推進事業	学校の教育活動・地域の教育活動において、地域の方たちが子ども支援ボランティアとして、学校や地域を支援する活動を推進し、学校・家庭・地域が一体となって児童生徒の「心の教育」の推進、「生きる力」の育成を図ります。	継続	生涯学習課

施策 4. 経済的支援の推進

事業名	事業内容	今後の展開	担当部署
1 奨学金支給事業	町内中学校卒業生に対して、一定の条件の下に、高等学校の学費の一部を援助し、経済的負担の軽減を図ります。	継続	学校教育課

主要課題 3

家庭や地域の教育力の向上

子育てを取り巻く環境が大きく変化する中で、今の若い親たちは、子育てや家庭教育を家族や親族、地域の人たちから学んだり支えられたりする経験が少なくなっています。そのため、教育の基本となる家庭の教育力が低下し、また、地域の人間関係が希薄になる中で、地域の教育力も低下しています。

親が自覚を持って家庭教育を行うように支援するとともに、“地域の宝”である子どもたちを地域が協力して育てていくために、地域の教育力の向上が課題となっています。

施策 1. 家庭教育への支援の推進

事業名	事業内容	今後の展開	担当部署
1 就学時健診等を活用した子育て講座	小学校の就学時健診の際、保護者を対象に子育て講座を実施し、保護者の子育てに対する不安等の軽減を図るとともに、家庭の教育力の向上を図ります。	継続	生涯学習課
2 思春期の子を持つ親のための子育て講座	小学校において、授業参観など保護者が集まる機会を活用して、6年生の保護者を中心に子育て講座を実施し、保護者の子育てに対する不安等の軽減を図るとともに、家庭の教育力の向上を図ります。	継続	生涯学習課
3 家庭教育（共育）学級開催事業	親・学校・地域社会の三者が、子どもを共に育てる・学ぶことを通して、親自身も「子どもと共に育つ」という意味で「共育」とし、年度5校を対象に、各学校単位を1学級として、子育てについての学習、親子ふれあい活動、親同士の仲間づくりを推進します。	継続	生涯学習課

施策 2. 地域の教育力の向上

事業名	事業内容	今後の展開	担当部署
1 リーダーの養成・研修	多岐にわたる生涯学習ニーズに対応するため、各分野における専門的知識を習得させるための研修会開催や指導者の育成と活用を図ります。	継続	生涯学習課
2 ライフステージに対応した学習内容	保育園・幼稚園・学校・行政等が連携し、現在行われている様々な教育を見直し、子どもの発達段階に応じた教育の推進を図ります。	継続	生涯学習課

事業名	事業内容	今後の展開	担当部署
3 社会教育団体 育成事業	教育行政を推進していく上で民間の活力は重要です。特に、各分野において、団体等の協力が不可欠なため、各団体の育成を図っていきます。	継続	生涯学習課
4 幼稚園地域子 育て等推進事 業	高齢者など異なる世代間との交流、親子共有体験等の幼稚園が行う体験活動を支援し、子どもたちの豊かな人間性の育成を図ります。	継続	学校教育課

主要課題 4

子どもの地域とのふれあいや社会参加の推進

都市化の進展や価値観等が変化する中で、子どもの地域との関係が希薄になり、また、積極的に社会参加する意識も希薄になっています。

壬生町の豊かな自然や農業の体験学習、地域活動を通して、地域とのふれあいや社会参加を促し、豊かな人間性や自立心の育成を図ることが課題となっています。

施策 1. 子どもの地域とのふれあいや社会参加の推進

重点施策

事業名	事業内容	今後の展開	担当部署
1 平地林保全対 策推進事業	現在、「わんぱく北っ子の森」（壬生北小学校）、「わんぱく睦っ子の森」（睦小学校）の2ヶ所を学習林として整備し、児童生徒が自然とのふれあいを楽しみながら、自然の尊さや仕組みを理解してもらうとともに、自然を守る意識の高揚を図り、児童生徒の健全育成を推進しています。 今後も、子どもたちの自然とのふれあいの場の拡充に努めます。	継続	農務課
2 子どもたちの アグリ体験学 習支援事業	小学校において、地域の農業者を「わんぱく農業インストラクター」として配置し、児童の農業体験学習を行い、農業への関心の醸成と食と農への理解促進を図り、児童の健全育成を推進しています。 現在は、6小学校（県単事業3校、町単事業3校）で実施していますが、事業終了後は、町単独事業として4～5校で実施し、単に農業体験だけではなく食育教育の一環となるよう内容の検討を行います。	重点	農務課
3 子どもの社会 参加の推進	子どもたちが、地域の行事や社会奉仕活動等に積極的に参加するよう啓発や機会・場を提供し、自立心や地域を愛する心の育成を図ります。	継続	生涯学習課